

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立加茂農林高等学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和 4年 2月 （書面開催）
- 3 参加者 委 員 山田 和浩 岐阜県農業大学校長（会長）
生駒 一成 岐阜県指導農業士（副会長）
酒向 光世 社会福祉法人管理職
長谷川洋昭 ボランティア団体支部局長
渡辺 祥二 農業生産法人代表
武田 由美 美濃加茂市教育委員
井戸 肇 同窓会
中島 清貴 P T A会長

学 校 側	大塚 浩昭	校長
	松岡 千年	教頭
	岩井のり子	事務部長
	斉藤 寧子	教諭（教務主任）
	村井 陽一	教諭（生徒指導主事）
	澤野 美彦	教諭（進路指導主事）
	八束 功子	教諭（農場長）

4 会議の概要

1 生徒の学習活動について

- (1) 各学科の取り組みについて
『令和3年度課題研究発表会』配付
- (2) 生徒会の取り組みについて
『令和3年度緑園』配付

意見1：しっかりと取り組んでいる姿を知ることができた。

意見2：学業の面のみならず生徒の教養が高くなっているように思う。今後も積極的に進めていただきたい。

意見3：課題研究については十分な成果が得られているが、継続的に取り組む内容のものがほとんどであり、今後の新しい活動に期待する。

意見4：『緑園』では、新型コロナウイルスのため思うような活動ができていない中、生徒が精一杯活動する姿を知ることができた。

意見4：各学科の特色を生かした活動が積極的になされ、地域とのコラボレーションや協働活動が進められているのは素晴らしいと感じた。

意見5：コロナウイルスの感染拡大から2年が過ぎ、生徒の生活にも大きな変化があった中で、それぞれのクラスや学科、部活動で仲間と共に学ぶ中から得られたことは、これからも大切な宝として成長の糧となると考える。

意見6：各学科共に活動内容が明確にされており、また、課題も明示されている。今後の学習の進展を楽しみにしている。

2【提案事項】「スクールポリシー」の策定について

「岐阜県立加茂農林高等学校 全日制課程 スクール・ポリシー」配付
すべての委員が承認。

意見1：教育目標として意義なし。

意見2：農林高校として特徴を表す内容も含まれており賛同できる。

意見3：「いのち」という言葉を入れてることは、農業高校として共感することができる。生徒をどう育てていくかが共通する課題だと思う。

3「校則改正」（頭髪の長さ）と生徒会を中心とする校則改正の動き

「校則の見直しについて 一昨年度より下記の改正を実施します」配付

意見1：意義なし。

意見2：賛成する。

意見3：生徒側が発案し意見をまとめ、学校側も認め、ほとんどの生徒が賛成ということで、プロセスも結果もよく、よい事例になったと思う。

意見4：学ぶ側の生徒の意見を尊重し決定したことは評価できると思う。

意見5：加納高校で服装が自由になったように生徒会が中心となって提案することを予測して対応する必要があると思う。

4 委員の方々のご意見等

意見1：生徒一人一人の内面力の向上が素晴らしく感じています。先生方にも感謝する。

意見2：今後も貴校生徒の農林業に関する職業観の醸成に尽力を希望する。

意見3：コロナウイルス感染の拡大の中で学校活動の負担が大きいですと思いますが、今後早期に終息して活発な活動がなされることを祈っている。

意見4：学校教育の在り方が多様化しています。また、SNSの普及によりその多様化は拍車がかかると思います。こうした中で社会共同の視点でいかなければならないと思う。